

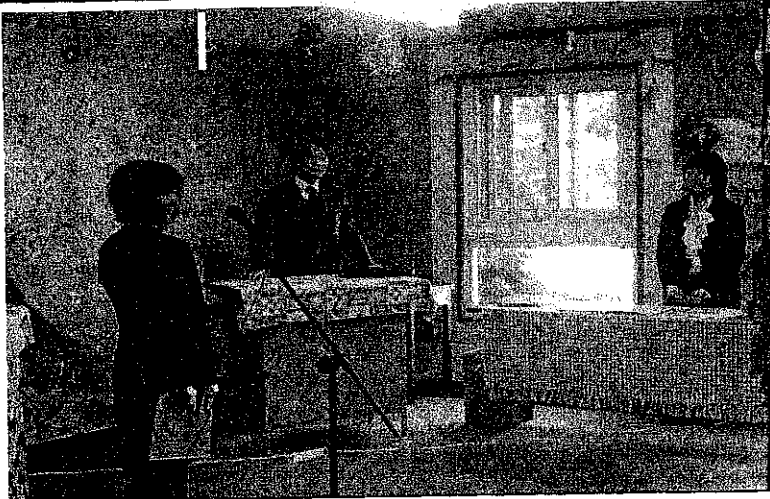
NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-8-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:[www.hokjioka.net](http://www.hokjioka.net) E-mail: [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

定価:250円・年額:3,000円(送料込)  
\*会費は会費(支援金)を含む



## INDEX

- P1: 巻頭言/
- P2-3: ヒューマン・トラスト/  
普及活動、会費納入
- p4-5: 卒業・終業のつどい
- p6-7: スクール実践/新学期、  
行事、生徒文章など
- p8: 時事、スケジュール、他

《写真説明》卒業・終業のつどい。  
生徒は一人ずつスピーチ。

## 「惜別を込めて(超えて)」

NPO法人・理事長 吉野 正敏

～3月19日、NPO法人役員の磯野慶子さんが逝去されました。この1年程は視力が不自由になり、体の検査を続けながら昨秋迄は本通信発行日には手伝ってくれました。前週に入院、19日には仲間の廿日岩さんとお見舞いに伺った後の急な区切りとなりました。享年86歳は役員最年長ですが、予てよりお元気な方で、会計・物販のお仕事や会議では長年お世話になりました。改めて感謝しております。北海道自由が丘学園の運動に20年来の関与を頂いており、この機会に私(吉野)との縁も含めて話題にする事をご了解下さい～

1991年「北海道自由が丘学園をつくる会」をスタートした時、既に磯野さんは「子どもを守る会」の役員でした。往時、鈴木秀一さんらによる【新しい教育・学校】構想を具体化させるべく会の普及&研究活動に繋がりを、それ以来、設立委員会(=学校法人認可推進)の役員や1998年「夕張スクール」の立上げに関して頂きました。この時は、夕張コンサートバスツアー&校舎見学会、寄宿舎整備のため5年間閉じていた旅館清掃、夕張映画祭に企画した自由が丘PR(マイクロバスを雪化粧でトロの「猫バス」+甘酒振舞い)の思い出があります。

その後、スクールが札幌に移転しNPO法人化した際にも、役員かつ普及活動や実務諸作業をボランティアとして継続的にお願いしました。高齢の身ながら、帳簿管理・集会の運営参加などを快く引受けて下さいました。思い出は加えて、10周年記念「湯川れい子講演」での主催者挨拶\*、「エコハウス」展開支援や、スクールの生徒との交換を楽しみ数年後の成長を励ます風景などがあります。

いつも、温かな物腰で、理事会でも思いやりのこもった人生の蓄積を感じさせる発言でした。自由が丘は《市民立、子ども達が主人公=主体者、協同》の(ヒューマン・トラスト)運動であることを基幹に置いたご姿勢は、以前にコープさっぽろ婦人理事としての経験からくるものでもあったと感じていました。(私が74年入協、80年代に豊平区組合員活動を担当した折の責任理事。私は数年後に異動、職員教育部門となりそこから自由が丘と関わる中で再会。その縁もあり、今も多くの生協関係者の支援を貰っています)私にとり貴重な先達であり、ある意味で言えばもう一人の母親的存在でした。

運動を継続する上で財政等の沢山の心配をかけたままの別離ですが、長年お世話になったことを心しながら、今後も自由が丘らしい取り組みとなるよう努めていきます。未来の日本社会にむけて、子ども達の人間的な学びと成長を支援し、地域の担い手を育成する教育活動は必須テーマです。 合掌

(会員読者の皆さんにも知己の方はいると存じますが、ご家族意向もあり事後報告となりました。\* : 別記紹介)